

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年3月15日

事業所名 多機能型事業所スマイルセレソンサポート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	1	遊小スペース、支援スペースで分け活動しやすい環境を作っている。	引き続き、子どもが活動しやすい環境づくりに努める。
	2	職員の配置数は適切である	9	3	見ることのできる人数を支援スペースに呼び、手厚く支援する。	利用児に対して、職員が少なく、手が回らないということがないようにうまく配置する。。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	12	特になし	身体障がい者の受け入れは行っていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	5	1人1人の職員が業務改善できるように努めている。	より良い業務ができるためにPDCAを取り入れていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	0	評価表を基に保護者の意向に合わせた支援を行う。	利用者に満足していただけるよう、以降に合わせた支援を行っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	12	特になし	開所して初年度なので改善内容等は令和5年3月より公開をする。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	12	特になし	次年度以降計画している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	3	虐待研修及び身体拘束、その他新人研修等を設けている。	次年度以降も計画している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	1	職員、保護者に児童の様子を共有し、必要な支援を行っている。	支援計画書を作成、お渡しし、引き続き分析を行い支援計画作成に取り組んでいく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	9	グループ内独自のアセスメントの使用をしている。	よりよいツールの作成を行い、アセスメントツールの質の向上に努めていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	1	児童の様子、どのような活動が必要かを共有している。	引き続きチームで児童の様子等を共有し、プログラムを立案していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	0	児童の特徴を踏まえながらプログラムを作成していく。	個々の特徴に合わせた支援を行っていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	2	休日、長期休暇については外の環境に触れさせるよう工夫している。	児童それぞれの課題を理解、共有し、1日の支援計画を作っていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	10	2	集団活動に焦点を当てつつ、利用児に応じて必要な個別活動を取り入れるようにしている。	引き続き、利用児に応じた活動及び集団活動を取り入れていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	0	朝礼を行い、職員の動きや支援内容の確認を行う。	より良い支援ができるように支援内容、スタッフ配置等を考えていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	1	その日に出た課題、トラブル等を共有し、改善案を出す。	課題や悪かった点を出すだけでなく、できるようになった点も共有していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	0	活動内容、様子を記録している。	活動の中での課題を共有し、サービスの向上に努めていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	12	0	約半年に1度のペースでモニタリングを行っている。	引き続き定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	10	2	基本活動（運動・あそび）及び地域交流体験等活動に組み込んでいる。季節に応じた創作活動も入れている。	地域交流及び季節に合わせた創作活動を積極的に組み入れていきたいと考えている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	4	担当者会議には主に日頃から見ている担当者が出来るよう心がけている。	引き続き、子どもの状況を詳しく伝えられる者が参加し、より良いサービスが提供できるように努める。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	3	子どもの様子を観察し、異変等があれば学校に知らせる。	下校時間等の連絡にミスがあることがあったため定期的にやり取りをし、改善する。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	12	特になし	医療的ケアが必要な児童の受け入れは行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	9	特になし	来年度以降、必要に応じて各機関と情報共有をしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	12	特になし	来年度以降、移行対象の子どもが出た場合連携をとっていく。
児童発達支援事業所の運営	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	12	特になし	来年度以降行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	12	特になし	来年度以降行っていく。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	0	12	特になし	協議会等に参加する機会がない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0	支援後、活動内容、状況を写真や文章で送り、課題、できるようになったことを共有している。	課題ばかりではなく出来るようになったことも保護者と共有していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	12	特になし	今後取り入れていきたいと考えている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	0	書面とともに説明を行っている。	追加で利用者負担等がある場合は事前に説明を行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	3	保護者とのコミュニケーションを密にとり相談しやすい環境	相談を受けた際には適切な助言ができるよう知識を付ける。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	12	特になし	必要に応じて、来年度以降に取り入れていきたいと考えている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12	0	苦情等が入った場合は、職員に場面、事例を共有、保護者の方に周知、対応をしている。	苦情等が入った場合は職員で共有し、対策を考え神速に対応できているので、引き続き、満足してもらえるように努める。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	2	活動概要、行事予定に関しては決定次第連絡を行っている。	行事予定などは保護者が忘れていた等がないよう、定期的に連絡をするよう努める。会報の発行も計画中。
	35	個人情報に十分注意している	12	0	流出、紛失が起きない場所に保管している。	引き続き、流出等がないよう気を付ける。また、ライン等のSNSでの誤送に注意する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	1	支援後には、写真、文章でその日の様子を送っている。	引き続き、満足いただけるように努める。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	12	特になし	実施に向け計画中。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	5	マニュアルの策定は行っており、訓練も実施している。	保護者にマニュアルの周知を再度徹底していく。また、職員にも周知、確認をする。訓練等を行う際にも事前に保護者へ通知をする。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	2	避難場所へ子どもと一緒に確認をしに行く。	避難訓練等を行うときは（避難場所等も含め）保護者に事前に周知しておく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	2	職員研修にて虐待及び身体拘束についての研修を取り入れている。	引き続き、定期的な研修を設けていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	7	身体拘束については、重要事項説明書に記載をしている。	身体拘束が必要と思われる利用児の支援計画書には記載をして、職員で共有をしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12	0	アレルギーがある児童については職員で周知、おやつ等にも注意をしている	引き続き職員間での周知、対応を行っていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	6	ヒヤリハットがあれば職員間で共有及び対策はしている。	事例を用いて事例を想定した研修などを取り入れていきたい。